



長編動画

毎日が アルツハイマー

参加費無料

定員60名

お気軽に
ご参加ください。



日時：令和6年7月27日(土)

午後2時～午後4時

(受付 午後1時30分～)

会場：津南町役場3階大会議室

住所 津南町大字下船渡戊585番地

料金：無料

監督の言葉 関口祐加

わたしの母、ひろこさんは、アルツハイマーになって2年。
わたしの親不孝歴29年間。
これは、わたしがオーストラリアに住んでいた年月です。
母のアルツハイマーが、わたしを日本に呼び戻し、母と向き合う
生活が2年半前から始まりました。29年間のギャップを埋めるか
のような母と娘の「毎日がアルツハイマー」な生活は、抱腹絶倒
であり、時としては、切なくもあります。
とくと「毎アル」なせきぐち家をご覧あれ。



【(C) 2012 NY GALS FILMS】

【お知らせ】

ご参加には、お申込みが必要です。

申込〆切は7月19日(金)です。

お申込み方法は、お電話752-3606または、裏面のお申込み書にご記入の上、
FAXでお申し込みください。(定員になり次第締切とさせていただきます。)

また、上映会当日、熱がある、体調がすぐれない方は、ご来場を控えて下さい。



お申込み・お問い合わせ先

十日町市中魚沼郡医師会▶つまり医療介護連携センター

☎025-752-3606 (月～金曜日 祝祭日除く9時～17時)

主催：十日町市中魚沼郡医師会▶つまり医療介護連携センター

共催：津南町



観た方のコメント

どう生きていくのか、父が他界した時、病院で亡くなったが、様々な希望がかなわなかった。死に向けての生き方を考え、準備しておくことの必要性を改めて感じた。

昨年5月に祖父がしりもちをついたことをきっかけに、寝たきりとなり、認知症の症状が少しずつ現れ始めました。それまですごく元気だっただけに、家庭内は大パニックになりました。初めての介護で余裕もなく、祖父の言動に苛立つ母の様子を目の当たりにし、これが「老老介護」なのかと危機感を覚えました。命の終焉について少し意識し始めたタイミングで映画を鑑賞し、「命」とはその人自身のものである、ということを変更して認識できました。

もし私の両親が…そんな想定が少しずつリアルに感じられる30代だからこそ、いろいろな選択肢を知る必要があるのだと思いました。少しずつ老いていく父や母と、もっと話がしたくなりました。

ドキュメンタリーの最高傑作です。

この映画は、日常の場面で認知症の人や家族が出くわす様々な出来事を、ユーモアいっぱいに描いています。この映画を観るだけで、教科書を何冊読んでも分からない認知症の世界が分かります。ぜひ、医師をはじめ、介護の方や家族の方に観てほしいと思います。

遠藤英俊（国立長寿医療研究センター・内科総合診療部長）

申込書 FAX送信の場合：025-750-1422（十日町市中魚沼郡医師会）

氏名	住所（集落名）	電話番号

※個人情報 は本上映会以外の目的で使用しません。